

ごあいさつ



会津若松市長

室井 照平

「第57回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）」が、会津若松市を会場に全国各地から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことは誠に嬉しい限りであり、会津若松市民を代表し心より歓迎とお祝いを申し上げます。

さて、本大会は、会津総合運動公園テニスコートを中心に3日間にわたり熱戦が展開されますが、各地区を代表する選手の皆さんのプレーを間近に観戦できることは、市民にとってスポーツへの関心が一層高まる大変貴重な機会となるものであります。

また、本市は、磐梯山、猪苗代湖に代表される豊かな自然に囲まれた観光地であるとともに、「武士（もののふ）の郷（さと）会津」として、会津藩校日新館の教えを現代版にした「あいづっこ宣言」を策定し、「ならぬことはならぬ」の精神を子どもから大人まで広く受け継いでいる伝統の息づくまちであります。

さらに、今年では会津の戊辰戦争終結から150周年の節目を迎え、本市では「『義』の想い。つなげ未来へ。戊辰150周年。」をキャッチフレーズに、戊辰の歴史とともに、新しい時代を誇り高く前を向いて生きてきた会津人の功績とその想いに光をあて、先人顕彰やこれまでの会津の歴史的意義の再認識を図る機会として、様々な記念事業を開催しております。

選手の皆様におかれましては、本大会に出場される名誉と期待に応えるべく、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、競技の合間には鶴ヶ城や白虎隊自刃の地である飯盛山をはじめとした、多くの史跡・名所や食文化を有する歴史と伝統のまち会津若松をご堪能いただきながら、親睦と友情の輪を広げ、思い出に残る大会としていただければ幸いです。

結びに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を心からお祈りいたしますとともに、大会開催にあたりご尽力を賜りました関係者の皆様に対し深く感謝を申し上げます、お祝いの言葉といたします。

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会委員長

矢澤 猛

本年度の全国実業団対抗テニス大会(ビジネスパル)は57回目を迎えました。東北テニス協会の実業団委員であります戸川委員の尽力によって、全国から予選を勝ち抜いてこられた男子32チーム、女子20チームが参加し、ここ福島県の会津若松市にて開催されることになりました。また会津若松城(鶴ヶ城)内にあるテニスコートを室井市長のご理解と情熱によって、全国大会に使用できるように補修、整備を行っていただき、本大会の一つの会場にさせていただきました事は、大変感謝いたすところであります。

後になりましたが、厳しい予選を勝ち抜き、大会会場の会津若松市にお集まりいただく選手の皆さん、本当におめでとうございます。

近年、テニスのみならずサッカー、卓球、バドミントンなど多くの競技で日本のスポーツ界は盛り上がってきています。ワールドカップやウインブルドン等と比べ、応援する人数の違いはあっても、勝って欲しいという熱意、意気込みはビジネスパルでもそのような世界大会等に引けを取らないと思います。プロ選手が参加出来ない本大会は、普段は会社員として勤務されている選手で構成されており、応援する人たちも会社関係や家族、友人に限られてくると思います。その限られた応援の人たちの気持ちを十分に理解していただき、本大会での優勝、日本一を目指して頑張ってくださいと思います。昨年の本大会にて僅かの差で悔しい思いをしたチームの皆さんも多いかと思いますが、気持ちも新たに今年こそは1年間頑張ってきた練習の成果を存分に発揮して、団体戦特有のチームワークの力を生かして、正々堂々と悔いのないテニスをしていただきたいと思います。そして職場の方々、テニス部の方々、またサポートを受けている会社への感謝の気持ちも忘れずに、本大会の3日間を通じて素晴らしいテニスを観客や応援の人たちに披露していただきたいと思います。また試合以外の時間では、全国からお集まりいただいた他チームの方々との親睦、交流を深め、会津若松市での滞在を思う存分楽しんでいただき、沢山の思い出で話をそれぞれの会社や地元の方々を持ち帰っていただければと思います。

最後になりますが、ご後援頂いております朝日新聞社様、会津若松市様、ご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様、東武トップツアーズ株式会社会津若松支店様、主管頂いております東北テニス協会、協力頂いております福島県テニス協会をはじめ、ご支援を頂いております関係各位にお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。